

財界に
モノが言える

教育の
自主性を守る



日本共産党をのばして 教育をよくしましょう

財界言いなりの教育政策を変えられるのはどの政党か。
財界との関係、教育の自主性が問われた教育基本法改悪の時の態度を比べてみると……

	財界との関係	教育基本法改悪の時の態度
共産党	企業・団体献金を受け取らず。バブル期の倍近く儲けている大企業に税金を7兆円もまけている問題を告発。是正による7兆円の財源を提案。	憲法違反の改悪として国民に反対運動呼びかけ。内心の自由、教育の自主性を守る論戦で成果。「やらせタウンミーティング」でも政府を追いつめる。
自民党	ともに、企業献金を受け取る。経団連とは毎年「政党通信簿」をつけてもらい、政策協議をおこなう関係。大企業への7兆円減税の問題には一言もモノが言えない。	教育基本法改悪を強行。日教組敵視発言などで大臣を辞任した中山成彬氏はその中心の一人。
民主党		政府案に反対したが、政府以上に「愛国心」を強調した「日本国教育基本法案」を提出。衆院で「教育勅語を参考にして、新しい道徳律を」と質問。



ひどすぎます!

教員免許更新制は中止に

教員の地位を不安定にし、「物言わぬ教師づくり」がねらいです。しかも、「受講できる保障がない」など矛盾だらけ。共産党をのばして中止に追い込みましょう。

民主党は

「10年で失効・100時間講習」の法案

免許状は、原則として、10年ごとに、…略…100時間の講習を受講した上その修了の認定を受けない場合には、失効するものとする

(民主党「教員免許改革法案」第11条、07年4月17日衆議院に提出)

更新制を決めた時、政府案(30時間講習)よりひどい法案を提出しました。

書類がつぎつぎあり、毎日9時過ぎまで学校。授業の用意が一番あとになるのがつらいです。教師を続けられるか不安。

(27歳、男性)

職員会議も、校長の考えと異なるものは提案できません。自由な雰囲気欲しい。(47歳、女性)

あれもだめ、これもだめ……子ども達のためにこうすれば良くなるのにということができにくい。

(39歳、女性)

こんなに忙しいのに教員免許更新講習なんて。10年目研修だってある。この夏、講習先がいっぱい京都まで自費で行った。

(33歳、関東の男性)

クラスに多動の子が数人いる。ベテランなのにまとめられなくて、周りの先生に申し訳ない。

(53歳、女性)

注意され続け、さいごは職員室での座り方まで監視されていると思うようになってしまった。

(25歳、男性)

今の教育
なにかおかしい……

先生

いっしょに 変えよう。

日本共産党

私たちはこの間多くの先生の声に耳を傾けてきました。

どの問題も今の政治と無関係ではありません。

私たち日本共産党の見解を掲載します。

しん
ぶん 赤旗

2008-2009冬号外
(1952年5月30日 第三種郵便物認可)

発行●日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL 03-3403-6111(代表) FAX 03-5474-8358
ホームページアドレス <http://www.jcp.or.jp>

教職員をへらし、現場無視の「改革」おしつけ こんな政治でいいの？

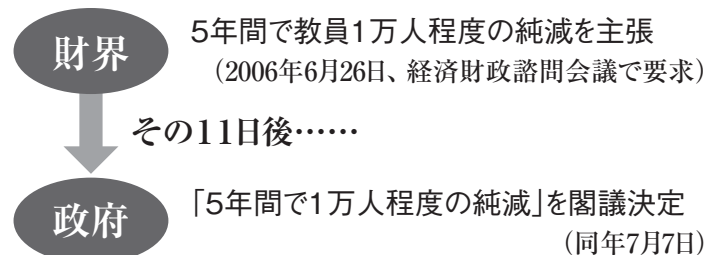
先生の数を減らす、上意下達の学校運営や競争を強いる——こんな政治が教育を歪めています。どの問題も財界からの圧力があります。



教員1万人削減計画

●財界言いなりに決められ、実施が目前!

政府は2010年春を期限に「義務制教員の定数1万人削減」を決定。少子化による教員自然減を大きく上回る数です。今でも足りないのに、教員数が大幅に減ることになります。

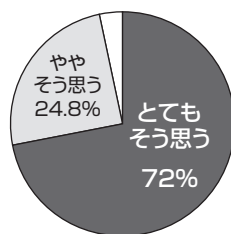


学校が息苦しい場に

●教員評価、全国学テ、免許更新制…

次々におりてくる「改革」。その大本には、「学校に競争原理を」という財界の注文があります。

もっと現場を踏まえた改革にしてほしい



2002年国立教育研究所の研究者らの調査。
回答は513校の公立中教員

財界はこんな教育を注文

- 学校選択制の拡大。
- 教員評価を教員の処遇に反映。
- 全国学テの学校別の結果公表。
- 能力別クラス編制。
- 新教育基本法で愛国心養成。

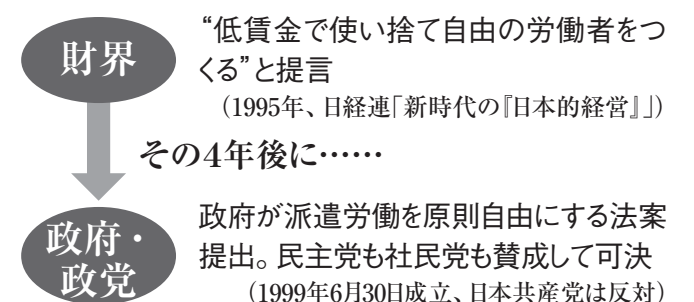
(2007年1月1日経団連「希望の国、日本」より)



「貧困と格差」

●子どものことを考えれば放っておけません

「学費が用意できず高校にいけない」「学用品が買えない」——構造改革で国民のくらしを壊した結果です。一方、大企業はバブル期の2倍近い利益です。



日本共産党の

教育応援宣言

“教育は子どもの成長のためにある”
憲法の原則を大切にします

教育は子どもの学び成長する権利を充足させるためのものです。人格の完成という文化的営みは権力的統制では出来ません。だから政治は条件整備を中心に仕事をし、教育の自主性を尊重する。私たちはこうした憲法の原則を大切にします。

- 教職員をふやし、じっくり子どもに向き合える環境を
30人学級、障害児教育拡充、臨時教員を正規雇用。学校統廃合強制反対
- 国家統制をやめ、のびのびと教育できるようにします
学習指導要領は参考資料に。「教員評価」「免許更新制」は見直し・中止に
- 全国いっせい学力テストの中止。競争教育の是正
学区自由化の強制反対。競争的教育制度をあらためる検討機関の設立
- 「世界一高い学費」をただし、教育の機会均等を守ります
高校・大学の授業料の大幅減免。給付制奨学金の発足。就学援助の拡充
- OECD諸国最低の教育予算を平均にまで引き上げます
財源は5兆円の軍事費や7兆円の大企業減税を見直せば十分あります

教育を大切にしている国・
フィンランドでは……

- 1学級は20人程度
- 教員に大幅な自主性を保障
- 夏休みは子どもも先生も2ヶ月
- いっせいテストはやらない
- 能力別学級編制の廃止
- 大学まで授業料無料

こんなんだったらいいね
日本だってできるはずだよ

